

2/19年版

## 大阪コロナ死最多の背景

### 維新 現場に対策丸投げ

新型コロナウイルス感染症による死者が急増し、1月以降では大阪府が全国最多となっています。大阪府保険医協会宇都宮健弘理事長に、死亡者数増加の背景について聞きました。

「大阪府でのコロナ感染による死者急増の背景には、間違いなく维新の会による府政の影響があります。医療体制を改善するために、维新的府政にメスを入れることが不可欠です。

大阪府保険医協会  
宇都宮健弘理事長

医療従事者や医療専門家

門家が発表した検査や保健医療体制の強化など科学的なコロナ対策を無視した結果、大阪府のコロナ対応は後手に回り医療体制が崩壊しました。

维新的府政は、とにかく「自分たちは頑張っている」とアピール

するばかり。感染対策やコロナ対応は医療現場に丸投げし、問題が起これば現場の責任だと言います。カジノや万博などばかりに力を入れます。维新的府政以前から大阪府は保健所が少なく医療体制も十分ではなかったのですが、维新は全く改善しようとしません。

医療従事者や専門家の提言を真摯（しんし）に受け止めて、これまでのような場当たり的ではない、先を見据えた医療体制の強化が必要不可欠です。

